

高等学校・全学年 特別活動（学校行事）

避難訓練

1 題材名 「昼休み、教員が教室に不在時に火災が発生したことを想定した避難訓練」

2 ねらい
火災発生時に、適切な避難行動がとれるようにする。

3 訓練の実際

【想定】

- ① 校舎1階で火災発生
- ② 自動火災報知設備の鳴動
- ③ 昼休み、教員不在時の発災

	時間の推移	生徒の動き	◎支援・留意点 ■評価
事前指導			◎生徒には、避難訓練のねらいや避難場所等の概要を事前に伝えておく。
避難訓練	○校舎1階から出火 ○自動火災報知設備の鳴動	○自動火災報知設備の鳴動を確認し、放送に注意する等、状況の把握に努める。	◎学年担当の教員は、各教室に向かい、生徒の安全確認を行う。学年担当以外の教員は、職員室に集合し、複数の教員が火災発生場所の確認を行う。 ◎副校長は、火災発生状況を把握し、教職員に指示する。 ・119通報 ・避難経路、集合場所の設定 ・初期消火の開始
	○放送による避難指示	○校内放送をよく聞き、出火場所、避難経路と集合場所を理解する。 ○学年担任の指示に従い、校庭に避難する。 ○校庭に整列する。 ○講評を聞く。	◎担任は、出火場所、避難経路、集合場所を把握した上で、教室、廊下等にいる生徒の避難誘導を行う。 ◎担任は、防災活動支援隊の生徒とともに、人員確認を行う。 【報告事項】 HR教室名、在籍者数、出席者数、欠席者数、けが人の有無 ◎避難訓練のねらいに照らして、効果的だった点、課題や改善点等、生徒の避難行動について具体的に評価する。
事後指導		○避難訓練における自身の行動を振り返る。	■自分自身でも、出火場所からの避難経路を判断できたかを振り返り、課題や日頃からの心構えについてアンケートに記述している。